

3つの国立公園とまちを繋ぐロングトレイル「想定ルート」

2022.11.25

ピンク線 = 徒歩による調査実施      青線 = 車による調査実施



## 阿寒摩周国立公園指定90周年について

阿寒摩周国立公園管理事務所

阿寒摩周国立公園は、昭和9年12月4日に指定され、令和6年に指定90周年を迎えることとなる。

平成28年度から国立公園満喫プロジェクトによる取り組みを推進してきたが、指定90周年を迎えるにあたり、90周年を祝いつつ、これまでを振り返り、指定100周年に向けて新たな一歩を踏み出す取り組みを関係機関とともに実施することを検討したい。

### 【これまでに阿寒摩周国立公園で行われた周年行事】

#### ①指定80周年

##### ・記念式典・祝賀交流会の開催

平成26年10月17日に、川湯温泉において記念式典および祝賀交流会を開催した。併せて、指定80周年記念アルバムを制作。

##### ・記念シンポジウムの開催

平成26年5月26日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会と釧路自然環境事務所の共催で、記念行事「阿寒国立公園指定80周年記念シンポジウム阿寒国立公園これからの展望」を開催した。基調講演や、自然体験、アイヌ文化、食、観光等の各分野の専門家によるパネルディスカッションを通じ、これまでの歴史を振り返るとともに、魅力の発信や将来目指すべき姿について、特に利用の推進の観点から議論を深めた。

#### ②指定70周年

##### ・記念フォーラムの開催

平成17年3月30日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会主催で、「阿寒国立公園指定70周年記念フォーラム 国立公園と地域振興」を開催した。100人規模。

#### ③指定60周年

##### ・記念フォーラムの開催

平成6年11月4-5日に、釧路市及び札幌市において前田一步園財団、北海道新聞社及び自然公園財団の共催で、「阿寒国立公園60周年記念フォーラム 阿寒

の新たな魅力を探る」を開催した。

※前田一步園財団の調査事業成果発刊と連動して企画開催

・記念シンポジウムの開催

平成6年11月11日に、弟子屈町において阿寒国立公園シンポジウム実行委員会（阿寒国立公園を構成する10町1村等）主催で、阿寒国立公園指定60周年記念事業の一環で「阿寒国立公園シンポジウム」を開催し、阿寒国立公園の現状と今後のあり方について探求するとともに、構成10町1村の地域間交流の推進を図った。

- ・パークボランティア養成講座の開催（釧路自然環境事務所）
- ・国立公園入口標識の整備（釧路自然環境事務所）
- ・国立公園ボカシ地図の作製（北海道地図（株））
- ・記念絵はがきの発行等（郵政省北海道郵政局）
- ・オレンジカードの発行（JR 釧路支社）
- ・写真集の発行（個人）
- ・新聞特集記事の掲載（北海道新聞釧路支社）
- ・自然に親しむ行事の強化、冠イベントの実施（関係機関）

④指定50周年

・記念式典・祝賀交流会の開催

昭和59年10月13日に、阿寒湖温泉において阿寒国立公園広域観光協議会主催で記念式典および祝賀会を開催した。300人規模。

- ・指定50周年記念国立公園紹介冊子の制作（阿寒国立公園広域観光協議会）

◆参考◆

①同時に指定90周年を迎える国立公園

大雪山、日光（尾瀬）、中部山岳、阿蘇くじゅう  
瀬戸内海、雲仙天草、霧島錦江湾

②同時に指定〇十周年を迎える国立公園

知床、南アルプス（指定60周年）、利尻礼文サロベツ（指定50周年）  
慶良間諸島（指定10周年）

※下線は、北海道内の国立公園

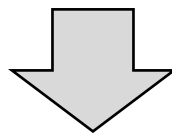
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会  
令和4年度開催状況および今後の予定

令和4（2022）年11月25日（金）

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会  
阿寒地域・摩周地域部会合同

- ・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2025 の進捗状況について
- ・SUP2025 重点取組  
「阿寒摩周国立公園トレイルネットワークの形成」について

開催地 …釧路市阿寒町（会場：ニュー阿寒ホテル）



令和5（2023）年2月

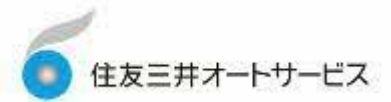
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

- ・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 2025 の進捗状況について（2022年度の取り組み成果） 等

開催地 …釧路市阿寒町（会場：阿寒湖温泉（未定））

# 自治体様向け E V カーシェア導入のご提案

---



01

全体概要

02

ご提案内容

03

EVトータルソリューション  
導入メリット

04

サービス詳細

05

スキーム図(案)

**REXEV**



カーシェア、エネルギーマネジメント  
など各種システムの提供

**北海道電力**




EVカーシェアリングサービスの提供

**札幌北洋リース**



車両 & メンテナンス・リースの提供

**住友三井オートサービス**




住友三井オートサービス  
公用車の稼働分析

**自治体様向け公用車利活用プラットフォーム**


自治体

地域住民 ●●町




自治体

地域住民 ■■町



自治体

地域住民 ▲▲町



**提供する価値**

- 公用車の電動化と再エネ有効活用による脱炭素社会実現への寄与
- EVの非常用電源としての活用によるBCP対応の推進
- カーシェアリングの併用による地域観光振興への寄与
- 地域住民との共創による地域課題解決 & 脱炭素社会実現モデルの構築

# ご提案内容

## 再エネ×EV×シェアで描く 地域脱炭素型まちづくり

### 再エネ活用

電力の地産地消で  
より自立し豊かな地域社会へ

電力の地産地消は地域分散型エネルギーシステムを形作る。

- ・地域活性化
- ・CO2の削減
- ・災害時のライフライン確保 など様々な意味合いを持つ。

地域分散型エネルギーへの取り組み：再エネ電源の活用  
ソーラーカーポートは規制緩和がなされたことや補助金が整備されていることで取り組みやすくなっている。



【ソーラーカーポート】

### 地域モビリティサービス

ゼロカーボン×DXでさらに快適・便利な  
交通網の提供

「所有」から「シェア」というライフシフトに合わせて  
自治体⇔企業、自治体⇔地域住民のEVシェアという地域  
交通インフラを構築。  
また、車両の予約や解錠はスマホアプリで完結する  
ためコスト低減にも寄与。



### 生態系保全



### 観光

#### EVを軸とした観光提案

- ・サステナブルツーリズム
- ・ワーケーション/2拠点生活



【キャンプ場でのワーケーション】



【EVシェアリングによる観光】

#### 災害時に適切な電源手配

REXEV社のシステムで、EVの残バッテリー量や位置情報  
を一元管理しているため有事の際は適切にEVを電源  
車として配置することが可能になる。

### 防災

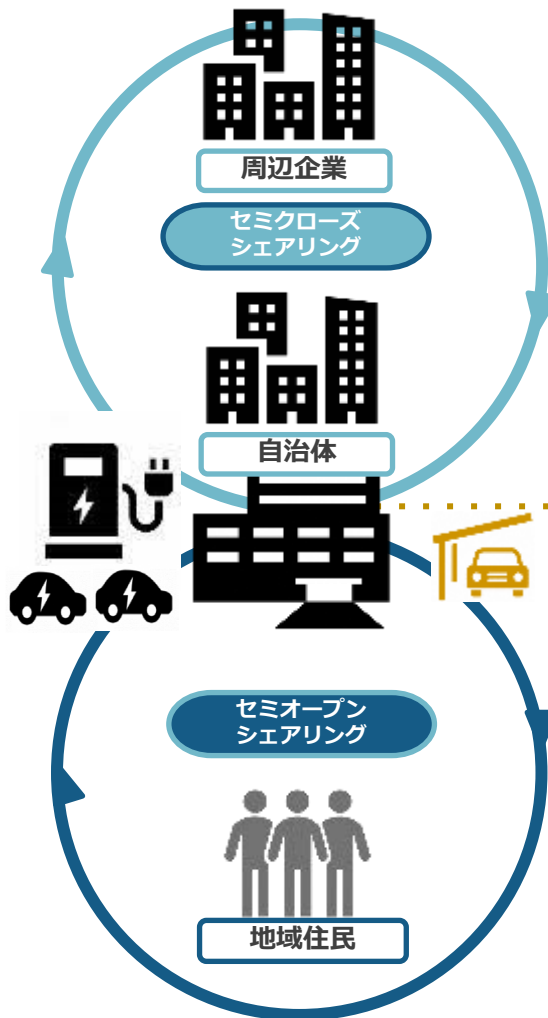
EV位置情報

電池残量の把握

アプリによる  
遠隔解錠



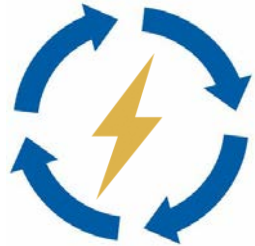
災害対策本部





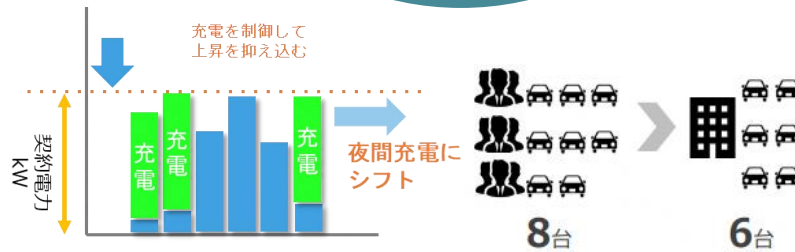
# EVトータルソリューション導入メリット

## 環境性



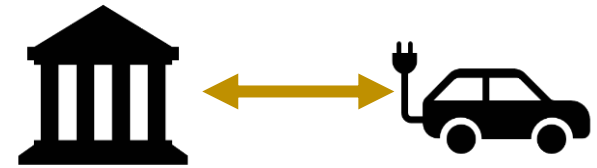
- ・ガソリン車からEV車への切り替え
- ・電源を地域の再エネから供給することで電力の地産地消を目指す

## 経済性



- ・公用車の台数最適化診断により車両台数削減。公用車両運用を効率化することができる。
- ・電力ピーク制御による電気代抑制
- ・ガソリン車+蓄電池購入よりもEVを利用する方が総コストは低い

## BCP対策



- ・EVは蓄電池を載せているため災害時にはバックアップ電源としても活用できる。(V2H、パワームーバーの導入が必要)

# サービス詳細

導入～運用までパッケージ化したEVトータルソリューション

導入期



## 01 車両台数適正診断

車両台数診断を実施。削減台数やコストを考慮の上、適切なEV導入台数を精査します。



## 02 一気通貫の導入補助

車両、充電器、管理システムの手配・導入までグループ・パートナー企業と連携しサポートいたします。

車両、充電器などの導入に活用できる補助金あり。

運用期

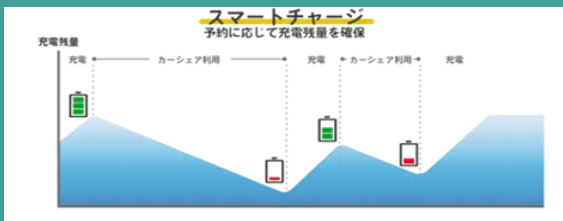


## 03 シェアリング×エネマネ機能

①EVシェアリングで公用車数の効率化、地域住民の移動の足を確保



②エネルギーマネジメントで電気代のコスト管理



応用期



## 04 BCP対策

REXEV社のシステムにて稼働EVの台数、バッテリー残量、位置情報を把握しているため有事の際は適格なEV配置→電源供給が可能となる。



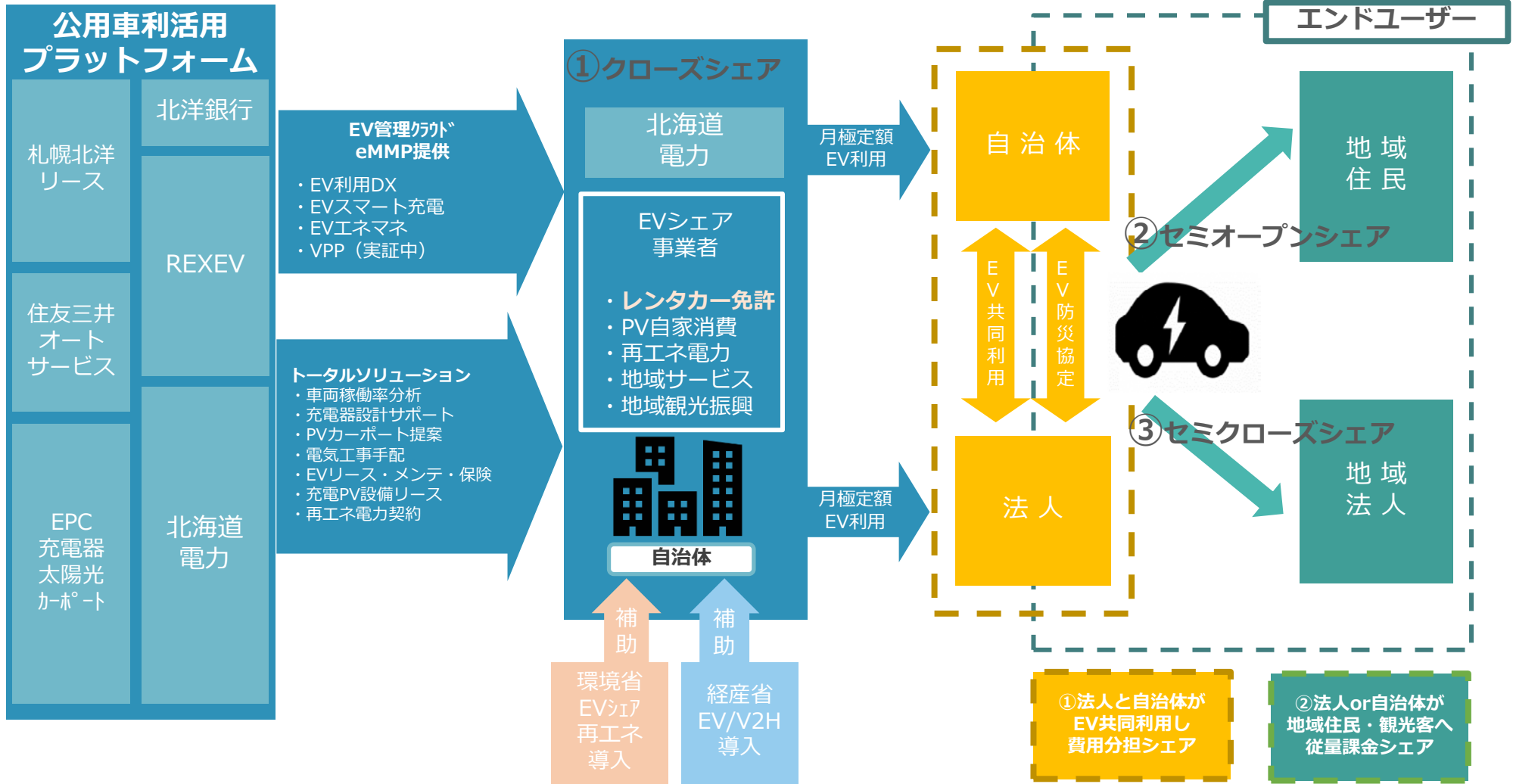
## 05 地域再エネ活用

ソーラーカーポート等、地域で生産される再生可能エネルギーをEVの電源に使用することで電力の地産地消を実現。

# スキーム図(案)

## ★R4～R8 環境省脱炭素カーシェア補助金利用時 の場合

⑤令和4年～8年環境省概算要求 (環境省脱炭素型カーシェア補助金)  
行政-住民 / 企業-住民 EVシェアリング体制イメージ



### 各団体の主な取り組み

#### ■ BA-6 アドベンチャートラベル推進

令和3年9月20日（月）～24（金）※阿寒DMO等～オンライン参加  
【アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道】バーチャル開催  
（北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道）  
・ATツアー磨き上げ（北海道運輸局、北海道）・ガイド研修（北海道）  
・AT事業者広域連携・販路拡大支援、AT旅行会社（北海道運輸局）

#### ■ NP-3 脱炭素化

##### ・ゼロカーボンパーク登録

主な国立公園利用施設において2025年までにRE100の実現を目指す  
（環境省、釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町）

#### ■ AK-2、AK-3、AK-7 阿寒湖温泉

・ロストカムイ、カムイルミナ実施  
・アイヌアートギャラリー本格オープン（2021年6月）  
・チュウレイ島ツアー実施（2021年10月から）  
・E-BIKE～旅行商品の開発（阿寒観光協会まちづくり推進機構）  
■カムイルミナ  
生態系影響調査実施（環境省）  
■ AK-8  
阿寒湖まりむ館（観光案内所）  
・外国語対応スタッフ配置（釧路市）

#### ■ ON-1 オンネトー

##### ・新休憩舎【UPIオンネトー】



2022年6月オープン（足寄町）

#### ■ KU-2

##### 屈斜路カルデラ外輪山トレイル

（美幌峠・津別峠・藻琴山）  
・コース整備、モニターツアー実施



（美幌地区3町広域観光協議会）

#### ■ BA-3 3空港を繋ぐトレイル推進

・非動力ATツアー対応に向けたガイドライン作成・セミナー開催（運輸局）

#### ■ KU-1（弟子屈町）

##### 屈斜路湖の新たな活用

・屈斜路湖、釧路川源流域利用実態調査実施

#### ■ KU-1

##### 屈斜路湖動力船規制

2021年10月開始（環境省）



#### ■ AK-5 滝口自然探勝路

・2022年6月全区間開通（環境省）



#### ■ AK-4 阿寒湖畔EMC

・2022年1月展示改修完了（環境省）

#### ■ BA-4 阿寒摩周国立公園インナーブランディングの推進

・「自然の郷ものがたり」第2号発行  
～旧阿寒町、弟子屈町の全戸に配布（環境省）

#### ■ KA-5 摩周・屈斜路トレイル

・新規ルート検証、トレイル道標設置（弟子屈町）

#### ■ KA-6 持続可能な観光地域づくり

・観光振興計画策定  
・日本「持続可能な観光」地域協議会への参画（弟子屈町）

#### ■ KA-7 川湯温泉川の魅力向上

・遊歩道の延長・整備  
・川床清掃、ライトアップ、環境改善（弟子屈町、川湯地域運営協会）

#### ■ KA-7 川湯の森ナイトミュージアム

・硫黄山ライトアップ、凶鑑の森、森のマルシェ開催（環境省、摩周湖観光協会）

#### ■ KA-1 川湯温泉街（廃屋撤去）

・2棟目（川湯プリンス）  
2022年3月～撤去完了

・3棟目（御園ホテル）  
2022年4月弟子屈町取得  
今後撤去予定

・4棟目（川湯グランドホテル）  
2022年2月弟子屈町取得  
今後撤去予定



（川湯プリンス）（御園ホテル）（川湯グランド）  
（環境省、弟子屈町）

#### ■ KA-1

##### 川湯温泉街DIY

（摩周湖観光協会）



#### ■ KA-2

川湯EMCインバウンド対応強化  
2022年4月ビジターセンターに  
名称変更（環境省）

#### ■ MA-3 裏摩周-神の子池 トレイル、プログラム開発

・ルート調査、看板整備 他  
（きよさと観光協会、清里町）

#### ■ MA-1 裏摩周園地

2021年7月  
裏摩周  
展望台リニューアル（環境省）

#### ■ MA-5 摩周湖外輪山

・西別岳登山道再整備設計完了  
（環境省）

#### ■ KA-4（弟子屈町振興公社） 官民連携による誘客促進

※REVIC連携協定事業  
・2022年7月

##### 「摩周湖カムイテラス」オープン



#### ■ KA-3 町民駐車場無料解放

・2022年9月から2025年まで  
摩周湖・硫黄山（自然公園財団）

#### ■ BA-6 アドベンチャートラベルの推進

・道東のAT向け自然ガイドブック  
「Wild Hokkaido」発行（環境省）